

岩手県野田村の支援・交流活動報告（2012年6月30日）

－ 学習支援活動・押し花教室・畑瓦礫撤去 －

本日の活動は、押し花の葉づくりと学習支援でした。快晴の下、朝の7時25分に弘前大学正門を無事に出発。参加者は、市民の方が11名、弘前大学生が5名、教員1名の17名でした。既に地域で押し花づくりの活動をしている方々、近隣の大学の学生さん、小学生の男の子を含むご家族など、多岐にわたる方々にご参加頂きました。

事務局からは田上君が参加。田上君は昨夜遅くまで飲み会だったらしく、まだ半分寝ているような雰囲気集合時間寸前の到着でした。

バスの中では順にマイクをまわして自己紹介。始めは期待と緊張が相半ばするような雰囲気でしたが、田上君が「朝、友達に起こしてもらえたので間に合いました」と言えば、その友人が、自己紹介とともに「田上君を起こしたのは僕です」と応じ、バスの中が笑いに包まれました。このやり取りで一気にバス内が和み、良い雰囲気でのスタートとなりました。

9時15分には道の駅おりつめのオトデ館に到着し、集合写真を撮影。とても良い天気、日差しも強く、写真撮影の間、目を開けているのが大変なくらいでした。



道の駅での記念撮影

予定時刻ぴったりの10時30分に生涯学習センターに到着しました。生涯学習センターには野田村に常駐している大阪大学の塩田君が待っていてくれて、様々な説明をしてくれました。おかげで、すぐに作業に入ることが出来ました。また、八戸高専の学生さん達とも合流。買い出し等を手伝って頂きました。

午前中は、生涯学習センターで押し花の葉作り、総合センターで学習支援ボランティアです。押し花にはたくさんの方にご参加頂きました。みなさんととても楽しんでくれた様子。あまりに参加者が多くて、八戸高専の学生さんには、作業を遠慮して頂くことになってしまいました。



押し花の葉作り教室の風景 座る場所が足りなくらいです。

学習支援ボランティアは、総合センターの2階で行われます。子供たちが早速待っていました。午前中は市民の方の指導による伝承遊び。子供たちと参加者が輪になって楽しく遊んでいました。

12時になると、弘前組、八戸高専組で分かれて昼食。その後、13時から午後の活動が開始。子供との遊びでは、集まってくれた子供たちに男の子が多かったため、男子学生達が活躍。男同士での元気良い遊びが子供たちに好評でした。

押し花は午後も盛況でした。また、午後からは、押し花だけでなく、パッチワークも開始。押し花は、午前中に参加出来なかった八戸高専の学生さんも作業が出来ました。

田上君とその友人は、八戸高専のグループと一緒に畑に埋まった瓦礫の撤去作業へ。この作業は、地中に埋もれている瓦礫の掘り出しが主な作業です。八戸高専の川村先生曰く「少し長い作業になりそう」とのこと。手袋、長靴等の用意は無かったのですが、現地で貸して頂く事で作業に参加することが出来ました。

午後も無事に活動はすすみ、野田村を出発する時間が近づいてきました。押し花の部屋では野田村の子供たちと八戸高専の学生さん達がすっかり仲良くなっていました。

学習支援ボランティアでは、子供たちが張り付いて離れません。出口まで手を繋いで別れを惜しんでいました。

帰りのバスの中では参加した皆さんに感想を話して頂きました。「学生の協力によって、うまくできた」「また、参加したい」「良い笑顔が見られた」と、満足感にあふれた感想が多く寄せられました。反省点としては「事前に聞いていた内容と大きく違った」「情報が少なく、準備が十分に出来なかった」との意見を頂きました。市民参画センターとの連携、事前の連絡の不備が課題となりました。

全ての行程を完璧にこなせた訳ではありませんが、天気と素晴らしい参加者の皆さんに恵まれ、充実した活動になりました。ありがとうございました。

(担当 小谷田文彦)